

火災

の発生しやすい時季となります!

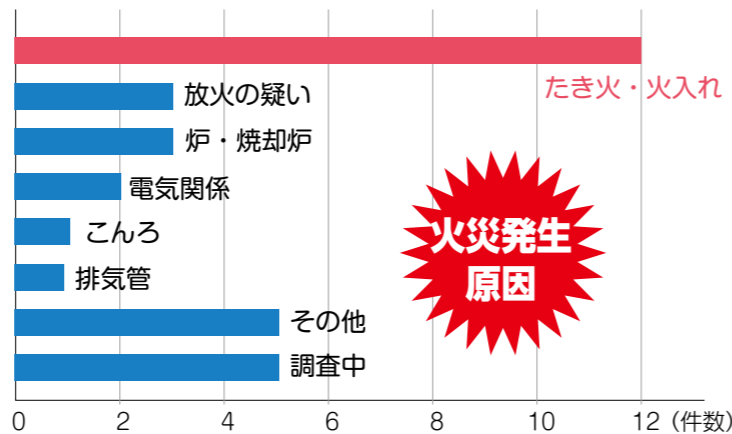


これからの季節は少しずつ寒さが増し、空気も乾燥して火災が発生しやすい時季を迎えます。

右表のとおり、本市の今年の火災件数は32件で、うち「たき火・火入れ」による火災が12件と、全体の約37%を占めています。次いで、原因がはっきりしている中では、「放火の疑い」「炉・焼却炉」の順に多くなっています。

火災は、ちょっとした油断で大切な命や財産を奪っていきますが、一人ひとりの心掛けで、未然に防ぐことができます。みんなで、火災予防に対する意識を高めましょう。

■ 火災件数内訳 (H28.8.31現在)



「たき火・火入れ」の出火防止対策

- 乾燥しているときや風の強い日は、たき火をしない。
- 水バケツや消火器を準備し、残り火には水をかけて完全に消してからその場を離れる。
- 焼却は必ず複数人で行う。
- 火災と紛らわしい煙などを発するおそれのある行為などを行う場合は、消防署へ届け出が必要です。



「放火」防止対策

- 家の周りに燃えやすいものを放置しない。
- 施錠管理をしっかりと行い、外部からの侵入を防ぐ。
- 夜間、ごみ捨て場に新聞や雑誌などを放置しない。



自治会などで消火訓練をしたり、協力体制を確立することが大切です。



「ストーブ」からの出火防止対策

- 外出や就寝するときは必ずストーブを消す。
- 給油するときはストーブを消してから行い、間違ってもガソリンを給油しないよう注意する。
- ストーブの周囲に洗濯物を干さない。また、燃えやすい物やスプレー缶などを置かない。

*「電気ストーブ」からの火災にも注意!

薩摩川内市消防局公式 Facebook フェイスブック

薩摩川内市消防局の公式 Facebook を開設しました。消防防災や講習に関する情報、訓練の様子などさまざまな情報を発信していきます。ぜひご覧ください。

* Facebookへのコメントなどで火災、救急、救助などの通報はできません。緊急の場合は「119番」通報をしてください。

【Facebookアドレス】
https://www.facebook.com/ssfd.jp/



ガソリンや灯油の取り扱いに注意

これからの季節、農繁期や寒さ対策のため、ガソリンや灯油を使う機会が増えてきます。

ガソリンや灯油は、火災を発生させ拡大させる危険性が高く、火災になると消火することがとても困難になります。取り扱いには十分注意しましょう。

- 給油するときは、エンジンを止める(ストーブを消す)。
- 容器の蓋は確実に閉める。
- 不必要な火気は使わない。
- ガソリンと灯油などは判別しやすいようにする。
- ガソリンや灯油などが高温状態になる場所に置かない。



住宅用火災警報器

を点検しましょう!



【編集】= 薩摩川内市消防局予防課 / <http://www.satsumasendai-fd.jp>

薩摩川内市消防局

検索



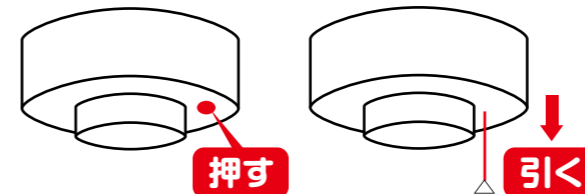
住警器は、住宅やアパートなどで火災が起きたとき、煙や熱をいち早く感知して警報音を出し、火災を知らせてくれる機器です。

就寝中や、仕切られた部屋などで物事に集中しているときには、特に火災に気付くのが遅れてしまいがちです。

自分や家族の大切な命と財産を守るため、全ての寝室に**住警器**の設置が義務付けられています。(寝室が2階以上にある場合は階段室にも設置)

また、「いざ」というときに、**住警器**がきちんと作動するか、日頃から点検しておきましょう。

ボタンを押す、またはヒモを引いて作動確認をしましょう!



● 正常な場合は?

正常をお知らせするメッセージまたは、警報音が鳴ります。

● 音が鳴らない場合は?

電池がきちんとセットされているか確認してください。それでも鳴らない場合は「電池切れ」か「機器本体の故障」です。

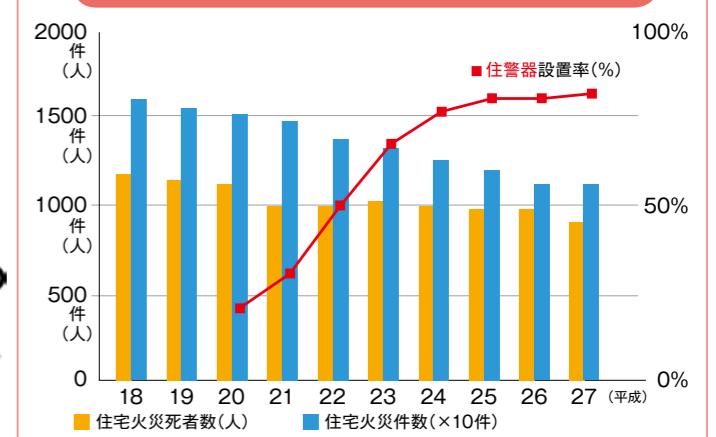
住警器の設置率が上がるごとに、住宅火災件数と住宅火災死者数は年々減少しています。

また、**住警器**が設置された住宅からの火災では、初期消火の成功率高く、逃げ遅れることが原因で亡くなる方も少なくなってきました。

住警器を設置していない住宅には、一日でも早く設置しましょう。



全国の住宅火災の状況と住警器の設置状況



10年経ったら取り替えましょう!

住警器本体は、センサーなどの寿命により、おおむね10年を経過したら交換が必要となります。住警器には、「設置年月」を記入するシールが貼ってあるものや、「音」で交換時期を知らせるものがあります。点検の時に、本体の交換時期を確認し、計画的な交換をお勧めします。